

# 大阪府医師会が開催してきた 「なにわ医学史蹟めぐり」

竹中 裕昭

竹中医院

昭和52年と平成3年に大阪府医師会で「なにわ医学史蹟めぐり」という現地セミナーが行われていた。今回、その内容を顕彰し、先輩方の足跡を広く伝えたい。

## 1. 昭和52年度の「なにわ医学史蹟めぐり」

(図1)

昭和52年度の「なにわ医学史蹟めぐり」は、6月12日(日)に阿倍野区で御開業されていた中野操先生を講師に迎え、行われていた。会費は

5000円で、午前10時から午後4時まで、日曜日1日掛けてバスで医学史蹟を巡っていた。

巡っていた医学史蹟は、大福寺(仮病院跡)、念仏寺(橋本宗吉墓)、誓願寺(中井竹山、中井履軒、井原西鶴墓)、大村益次郎記念碑、国立大阪病院、舎密局跡、適塾跡、オランダ宿(現・愛珠幼稚園)、阪大Ermerins記念碑、福沢諭吉誕生地、龍海寺(中天游、緒方洪庵、賀川南龍墓所)、円珠庵(大阪華岡一族墓所)、葦鶯庵(永富独嘯庵墓所)、四天王寺北墓地(高橋正純顕彰碑、吉

52年度第1回現地セミナー  
「なにわ医学史蹟めぐり」

日時 昭和52年6月12日(日)雨天決行  
講師 阿倍野区 中野 操  
日生病院 長門谷 洋 治  
会費 5,000円  
定員 70名、電話で申込みを受けませんが先着順で締切ります。  
(申込先(06)768-1451 大阪府医師会 学術課)

なにわ医学史蹟めぐりスケジュール表  
6月12日(日)午前10時 大阪府医師会館に集合

〈午前のコース〉  
医師会館 → 徒歩 3分 → 大福寺(仮病院跡) → 徒歩 1分 → 念仏寺  
(橋本宗吉の墓) → 徒歩 2分 → 誓願寺(中井竹山、中井履軒の墓、井原西鶴の墓) → 徒歩 2分 → 大村益次郎記念碑 → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区上本町1) → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区上本町1) → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区今橋3)  
(下車) 舎密局跡 → 徒歩 2分 → 福沢諭吉誕生地 → 徒歩 2分 → 龍海寺(中天游、緒方洪庵、賀川南龍の墓) → 徒歩 2分 → 医師会館(昼食 休けい)

〈午後のコース〉  
医師会館 → 徒歩 3分 → 大福寺(仮病院跡) → 徒歩 1分 → 念仏寺  
(橋本宗吉の墓) → 徒歩 2分 → 誓願寺(中井竹山、中井履軒の墓、井原西鶴の墓) → 徒歩 2分 → 大村益次郎記念碑 → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区上本町1) → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区今橋3)  
(下車) 舎密局跡 → 徒歩 2分 → 福沢諭吉誕生地 → 徒歩 2分 → 龍海寺(中天游、緒方洪庵、賀川南龍の墓) → 徒歩 2分 → 医師会館(昼食 休けい)

正純の碑、吉田順三の墓 → バス(下車) → アーレン墓地(森鼻宗次の墓) → バス  
(下車) 龍海寺(中天游、緒方洪庵、賀川南龍の墓) → 徒歩 2分 → 誓願寺(中井竹山、中井履軒、井原西鶴の墓) → 徒歩 2分 → 大村益次郎記念碑 → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区上本町1) → 徒歩 5分 → 大福寺(仮病院跡)  
(東区今橋3)  
(下車) 舎密局跡 → 徒歩 2分 → 福沢諭吉誕生地 → 徒歩 2分 → 龍海寺(中天游、緒方洪庵、賀川南龍の墓) → 徒歩 2分 → 医師会館(昼食 休けい)

「老年病」セミナーの開催について  
大阪府医師会医学会  
(会長 山口 正 民)

高令化現象が進む中で、深刻な社会問題として、老人の福祉・医療が最近とくにクローズアップされています。本会では9月の老人福祉週間にならみ、下記のスケジュールで「老年病」セミナーを開催することになりました。

内科・外科・整形外科・精神科・経科等、多方面からの講師を招いて日常診療に役立つよう、わかりやすくお話をさせていただきます。ふるって参加されますようお願いいたします。

老年病セミナーの内容及び参加申し込み方法について

☆ 開催日時 第1日目 昭和52年9月10日(土) 午後2時開会  
第2日目 昭和52年9月11日(日) 午前9時30分開会

☆ 会場 大阪府医師会館4階大ホール

図1 昭和52年度の「なにわ医学史蹟めぐり」<sup>1)</sup>

## (3) セミナー形式による研修会について

一つのテーマについて十分な時間をかけて勉強したいという会員の希望に応えるため、昭和51年度からセミナー形式の研修会を開催しているが、本年度は次のようなセミナーを開催した。

## ☆ 現地セミナー

「なにわ医学史蹟めぐり」

日 時 平成3年10月27日(日) 午前10時 雨天決行  
 講 師 長門谷洋治先生(豊中市)  
 会 費 5,000円(昼食代含む。当日徴収)  
 定 員 60名(先着順)  
 参加申込 大阪府医師会学術課へ電話〔TEL 06(768)1451〕または  
 ハガキ(〒543 大阪市天王寺区上本町2-1-22)で  
 申込み

集合場所(時間) 大阪府医師会館 6F会議室(午前9時50分)

## 見学コース

(バス及び徒歩) →徒歩 ⇄バス

大阪府医師会→大福寺→念仏寺→誓願寺⇄大阪日赤病院⇄市立  
 桃山病院⇄蔵鷲庵⇄太平寺→浄春寺→梅旧院⇄大阪府医師会  
 (昼食)⇄大村益次郎記念碑→国立大阪病院⇄舎蜜局跡碑⇄木  
 村兼葭堂跡碑⇄あみだ池和光寺⇄少彦名神社(神農さん)⇄適  
 塾→緒方病院⇄阪大医学部⇄阪大病院⇄微研跡〔レリーフ〕→  
 福沢諭吉碑・井戸跡⇄龍海禅寺⇄北野病院⇄済生会中津病院⇄  
 大阪駅⇄大阪府医師会

図2 平成3年度の「なにわ医学史蹟めぐり」<sup>2)</sup>

田頭三墓所), 阿倍野墓地(森鼻宗次墓所), 浄春寺(麻田剛立, 大矢家, 三井家, 各務文献, 吉益家墓所), 梅旧院(齊藤方策, 淡輪元潜一門墓所), 禅林寺(古林家墓所), 和光寺(伏屋素狄顕彰碑), 絲漢堂塾跡の20箇所であった。

## 2. 平成3年度の「なにわ医学史蹟めぐり」

(図2)

平成3年度の「なにわ医学史蹟めぐり」は、10

月27日(日)に、豊中市で御開業されていた長門谷洋治先生を講師に迎えて行われていた。会費は5000円で、午前10時に大阪府医師会館6階会議室に集合の後、1日掛けてバスで医学史蹟を巡っていた。

訪れた医学史蹟は、大福寺(浪華仮病院跡碑), 念仏寺(橋本宗吉墓所), 誓願寺(中井竹山, 中井履軒墓所), 大阪日赤病院(ヒポクラテスの木), 大阪市立桃山病院(殉職者慰霊碑, 資料室), 蔵



図3 大阪市立総合医療センターさくらホール前の桃山病院遺構展示

鷲庵（永富独嘯庵墓所）、太平寺（北山寿安墓所）、浄春寺（麻田剛立、各務文献墓所）、梅旧院（斉藤方策、淡輪元潜墓所）、大村益次郎記念碑、国立大阪病院（佐谷有吉碑）、舎密局跡碑、木村兼葭堂邸跡碑、あみだ池和光寺（伏屋素狄顕彰碑）、少彦名神社（神農さん）、適塾、緒方病院（除痘館跡）、阪大医学部（エルメレンス碑、佐多愛彦像、楠本長三郎像）、阪大病院（塩見理化学研究所、竹尾結核研究所、特殊皮膚病研究所）、微研跡（レリーフ）、福沢諭吉碑・井戸跡、龍海禅寺（中家、緒方家墓所、大村碑）、北野病院、済生会中津病院（嘉門長蔵夫妻碑）の24箇所であった。

### 3. 両者に共通した医学史蹟

2回しか開催されていない「なにわ医学史蹟めぐり」であるが、2回共、共通して訪問されている場所は、大阪の医学史蹟として重要なものであると言えよう。

それは、大福寺（浪華仮病院跡）、念仏寺（橋本宗吉墓所）、誓願寺（中井竹山、中井履軒墓所）、蔵鷲庵（永富独嘯庵墓所）、浄春寺（麻田剛立、各務文献墓所）、梅旧院（斉藤方策、淡輪元潜一門墓所）、大村益次郎記念碑、国立大阪病院、舎密局跡、和光寺（伏屋素狄顕彰碑）、適塾跡、阪大Ermerins記念碑、福沢諭吉誕生地、龍海寺（中天游、緒方洪庵、賀川南龍墓所）の14箇所であった。

### 4. 今はない医学史蹟

大阪大学医学部と阪大病院は、平成5年、吹田市山田丘へ移転。Ermerins記念碑も吹田キャンパスに移転した。緒方病院は、昭和61年に現在の緒方ビルに建て替えられ、平成4年より婦人科を中心としたクリニックとして今日に至っている<sup>3)</sup>。大阪赤十字病院のヒポクラテスの木は、病院に問い合わせたところ、今はないとのこと。枯死したのか、詳細は不明である。また、大阪市立桃山病院は閉鎖され、その機能は大阪市立総合医療センターへ引き継がれている。その遺構の一部は大阪市立総合医療センターさくらホール前に展示されている（図3）。

### 5. 狭義の医学史蹟には当たらない可能性のあるもの

オランダ宿は、江戸参府のオランダ人の大坂滞在所で、大坂蘭学界のパトロン的存在であった木村兼葭堂邸跡や福沢諭吉生誕地と共に、重要な蘭学史蹟ではあるが、医学史蹟に当たるかどうかは微妙なところである。舎密局はボードウィン赴任前に大坂仮病院で診療に当たっていたハラタマが開設に尽力したのだが、舎密局で医学教育が行われていたのかどうかは明らかでない。誓願寺に眠る中井履軒は、越俎弄筆を記し、解剖学に貢献し

ているが、中井竹山、井原西鶴の医学的貢献は不明である。

## 6. 今後の展開

過去2回に開催された医学史めぐりは、墓所が比較的多く、昭和52年度で20箇所中11箇所(55.0%)、平成3年度で24箇所中7箇所(29.2%)であった。過去の人物像に精通している方には興味深い、初心者には墓所見学だけではわかりにくいだらうと思われる。過去2回に開催された際には、資料が配布されている。墓所中心の史蹟めぐりには、充実した配布資料または事前のレクチャーが必要であろう。

また過去2回の対象は江戸時代以降の医学史跡であるが、聖徳太子の四天王寺四箇院(特に療病院と施薬院)や、赤十字精神の体現者、楠木正行の小楠公義戦跡碑なども加えるとよいように思われる。

今後は、先輩方の足跡を元に、すべてを網羅し

た熟練者向けの史蹟と、初心者向けの史蹟に分けて提示し、より幅広い層に大阪の医学史蹟の魅力を知っていただく試みを行ってみたいと考えている。

## 謝 辞

なにわ医学史めぐりの存在を御教示くださった橋本 博先生、並びに資料を御提供くださった大阪府医師会学術課にこの場をお借りして御礼申し上げます。

## 文 献

- 1) 大阪府医師会. 昭和52年度大阪府医師会会務報告; 1978. p.484-485
- 2) 大阪府医師会. 平成3年度大阪府医師会会務報告; 1992. p.135
- 3) 緒方クリニックセンターホームページ(最終閲覧日: 2014年8月5日) [http://www.klinik-ogata.or.jp/ogata\\_building/floor/3f-01.html](http://www.klinik-ogata.or.jp/ogata_building/floor/3f-01.html)